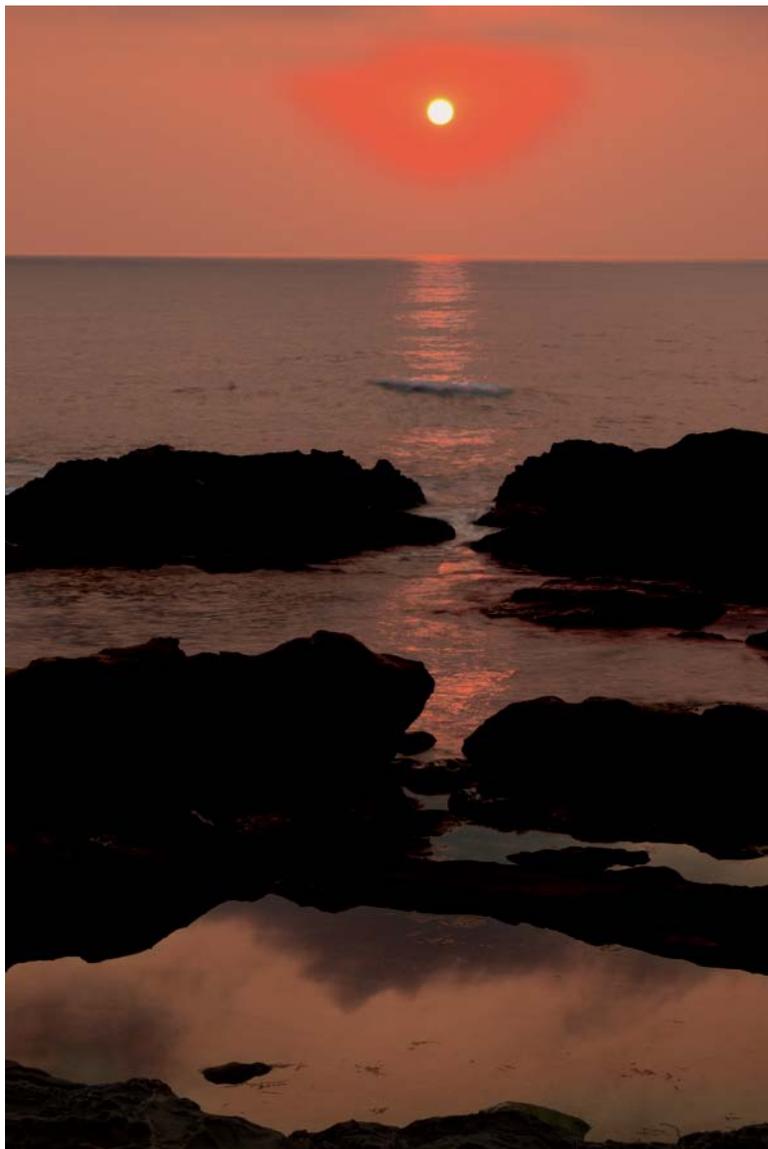


福井県医師会

だより

第640号 平成26年(2014)10月



夕照 鯖江市 清水 元博

表紙写真説明：夕照

鯖江市 清水 元博

福井市小丹生町 弁慶の洗濯岩から眺めた夕日です。

この場所は、越前海岸から夕陽を望む絶景ポイントの一つで、幾重にも重なる荒々しい岩礁と夕焼けの写り込みが大変美しく、大勢のカメラマンに人気のある場所です。

撮影当日、夕陽の映り込みが岩礁と岩礁の間に入るようなポジションで構えていたところ、偶然にも沖の方から小さな波が押し寄せて来ましたので思わずシャッターを切ったのがこの作品です。

今後とも、このような「一期一会」を大切に表現したいと思っています。

## 醫 縫 録

# 地域医療の充実を目指して

三方郡医師会長 浅 妻 賢 哉



平成26年4月から三方郡医師会長を務めております。

医師会員となりまだ10年目で、浅学の身で有りながら責任ある立場となり、まさに身の引き締まる思いであります。三方郡医師会は、明治20年に三方郡医師組合として発足し、127年にわたって当地で活動をつづけております。若輩者では有りますが、先達の方々の名を活さぬよう努力して医師会運営を行って行く所存であります。どうかよろしく願いいたします。

地域医療を担っている郡医師会としては、会員それぞれがお互いに協力して、また行政と連携して地域医療にあたるのが肝心であると思われれます。当医師会は若狭町旧三方町地区と美浜町の旧三方郡内での会員により構成されており、(小所帯でもあり)会員間の連絡協力は密であると思われれますが、構成地域が行政単位とは一致していない(警察、消防の区域は一致している)という難しい面もあります。当医師会は営利事業活動を行っておらず、主な活動としては休日在宅当番医制の実施、予防接種、学校医活動、自治体の保険衛生事業、介護保険事業への協力等が有りますが、いずれも行政との連携が必要なもので、それぞれの町で個々の会員の方々が努力されることで、協力できていると思います。2025年問題に向けて今年介護保険法が改正される見込みで、3年後には市町村の介護における役割がさらに大きくなり、それぞれの町で会員の方に負担が増えるのは確実と思われ、医師会としてどうコミットするかは課題として有ると思います。

当医師会の活動として他に研修会の開催を年に数回行っておりますが、構成人員の少なさ故、参加される方が少なく、講師の方にはいつも申し訳なくなる程で、今後近隣の医師会員の方々、コメディカルの方々にも参加いただけるような

研修会を企画する必要があると考えております。

また時代は「施設から在宅へ」となっており、在宅医療の整備が喫緊の課題となっており、特にがん診療では緩和ケア地域連携パスの活用が始まっています。当地では絶対的なマンパワーが不足しておりますが、意義、内容、有用性の周知と啓発をおこない、できるだけ患者さんのニーズに応えられる体制を構築できるよう前向きに取り組んでいきたいと思っております。

さて直近の当地の話題としては、本年7月の念願の舞鶴若狭自動車道の開通が上げられます。若いころ研修を舞鶴で行った身としては、舞鶴から福井までの移動の際、敦賀で高速にのった時点で到着したも同然の気分になったことを考えると、隔世の感があります。嶺南内での移動時間が実感として約半分になり遠距離の医療機関で診療を受ける方が増加するのではと予測され、遠距離の医療機関との連携がさらに必要になり、必然的に在宅医療の体制の構築がさらに重要になってくると考えております。先に述べたがんのことはもちろん、様々な疾患に対する在宅医療体制の構築に取り組む必要があると思います。

小さな町の医師会で、限りある人的資源ですが、今後、行政当局、関係機関の協力を賜り、地域医療の充実に向け、出来る限り医師会として一体となって努力して参りますので、今後ともご指導ご協力をよろしく願いいたします。